

擬態語、擬声語 どれかな？どれかな？

15分

対象：小学校2年生

人数：2人以上



カードを机に並べます。じゃんけんで親を決めます。

親は、1枚カードを参加者に分からないように選び、思いついた擬態語・擬音語を発表します
(例 ふわふわ)

参加者はそれぞれ、親の言った擬態語・擬音語が描かれているカードを(いっせいに指さすなどして)選び出します。

参加者は、そのカードを選んだ理由を一人ひとり発表します。親が選んだカードであるとともに、参加者となるほどと思わせた人が、そのカードをもらうことができます。

親が変わります。

ポイント!

- ・擬態語・擬音語が隠れている作品を見つけましょう。
- ・カードの枚数は、人数や対象者によって変えながら楽しみましょう。(10枚～全部)
- ・そのカードを選んだ理由はなるべく具体的に説明してみましょう。(例 この模様がブドウに見えたからです など)
- ・親を交代しながらやってみましょう。